

農工商等連携事業認定式の開催（㈱ハルキ×ようてい森林組合）

－ 日時：1月22日（火曜）14：00～15：30 場所：森町役場 －

中小機構（独立行政法人中小企業基盤整備機構）北海道本部は、北海道経済産業局及び北海道農政事務所より「農工商等連携事業」の認定を受けた、株式会社ハルキとようてい森林組合による事業の推進とPRを図るため、認定事業者及び関係機関と共に認定式を1月22日（火曜）に森町役場で開催いたします。

本事業は、ようてい森林組合が提供するカラマツ材を用いて高強度な「ようていプレミアム集成材」を開発・販売し、生産のボトルネックとなっている作業工程をIT・AI化することで生産性の向上を目指す事業です。

北海道立総合研究機構林産試験場や公立はこだて未来大学の協力により、カラマツ材の乾燥技術・積層接着技術の確立、AI技術を活用したプレカット材の設計業務の効率化・検品検査作業の省力化など事業化に向けた取り組みを推進し、双方の経営課題の解決を目指します。

また、本事業で開発・販売する「ようていプレミアム集成材」はトレーサビリティが明確かつ高強度集成材JAS規格を満たす商品であり、さらに㈱ハルキ及びようてい森林組合はSGEC森林認証取得企業・団体であるため両者の開発商品もSGEC認証品と位置づけられ、東京オリンピック関連施設等の高い要求基準にも対応する製品として期待されています。

※認定式の詳細及び農工商等連携事業の概要等は別紙資料をご参照ください。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、日本の中小企業政策の総合的かつ中核的な実施機関として、全国の中小企業への支援をトータルで行う経済産業省所管の独立行政法人です。生産性向上や事業承継など様々な課題を抱える中小企業に対して、販路開拓、海外展開、人材育成、事業引継ぎ、その他経営面での助言、情報提供、並びに共済制度、ファンドを通じた資金提供など多様な支援を実施しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部
経営支援部 連携推進課 （担当：一戸、伊藤、岩崎）
住所：札幌市中央区北2条西1丁目1-7 ORE 札幌ビル6階
電話：011-210-7472（ダイヤルイン）

株式会社ハルキ × ようてい森林組合
農商工等連携事業計画認定式

- 日 時：平成31年1月22日（火） 14:00～15:30
■場 所：森町役場 2階会議室（茅部郡森町字御幸町144-1）

式次第

- | | | | |
|---------------|---------------------------------|------------------|--------------------|
| 1. 開会
開会挨拶 | 中小機構北海道本部 | 本部長 | 戸田 直隆 |
| 2. 認定書授与 | 北海道経済産業局 産業部
北海道農政事務所 函館地域拠点 | 次長
地方参事官 | 三木 一弘 様
宮崎 久人 様 |
| 3. 認定企業挨拶 | 株式会社ハルキ
ようてい森林組合 | 代表取締役
代表理事組合長 | 春木 芳則 様
船場 實 様 |
| 4. 来賓挨拶 | 森町 | 町長 | 梶谷 恵造 様 |
| 5. 認定機関挨拶 | 北海道経済産業局 産業部
北海道農政事務所 函館地域拠点 | 次長
地方参事官 | 三木 一弘 様
宮崎 久人 様 |
| 6. 認定事業の紹介 | 株式会社ハルキ | 取締役 | 鈴木 正樹 様 |
| 7. ふるさと名物応援宣言 | 森町役場 | | |
| 8. 閉会 | | | |

※司会進行：中小機構北海道本部

※ご参加者に記念品を贈呈いたします。

※認定式終了後、ご希望者に(株)ハルキの本社工場（森町）をご案内いたします。

⑤ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現

ようてい地域の森林資源の高付加価値化を図る高強度集成材開発およびIT化・AI化事業

ようてい森林組合が提供するカラマツ材を用いて高強度な「ようていプレミアム集成材」を開発・販売し、生産のボトルネックとなっている作業工程をIT化・AI化することで生産性の向上を目指す。

➤ 連携体

農林漁業者

ようてい森林組合(法人番号 7430005008336) (林業)

高強度を持つカラマツ材の安定供給、集成材のもとになるラミナ材の加工。

中小企業者

(株)ハルキ(法人番号 6440001006236) (一般製材業)

カラマツ材を用いた高強度な「ようていプレミアム集成材」の開発、製造、販売、販路開拓、IT化。

連携参加者

(地独)北海道立総合研究機構林産試験場(法人番号 6430005006258)、(大)公立はこだて未来大学(法人番号 2440005001492)

本連携事業において、技術指導、開発支援。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構北海道本部(法人番号 2010405004147)

➤ 連携の経緯

住宅や公共施設などの強度を要する梁などに使用される高強度の集成材は、これまで輸入品に頼っており、ハルキは仕入れ価格の乱高下や入手困難な状況を踏まえ高強度集成材の国産化を模索し、一定の品質で安定的に原料の確保が可能な調達先を探していた。一方、ようてい森林組合では、地域のカラマツ材が持つ高強度の特徴を活かし、林業の高付加価値化を図るべくその方法を模索していた。このような中、ようてい森林組合の組合員がハルキを訪問し情報交換する中で、両者が連携して純国産の高強度集成材を開発・販売することによって、お互いの経営課題解決に向けて連携事業を始めることに至った。

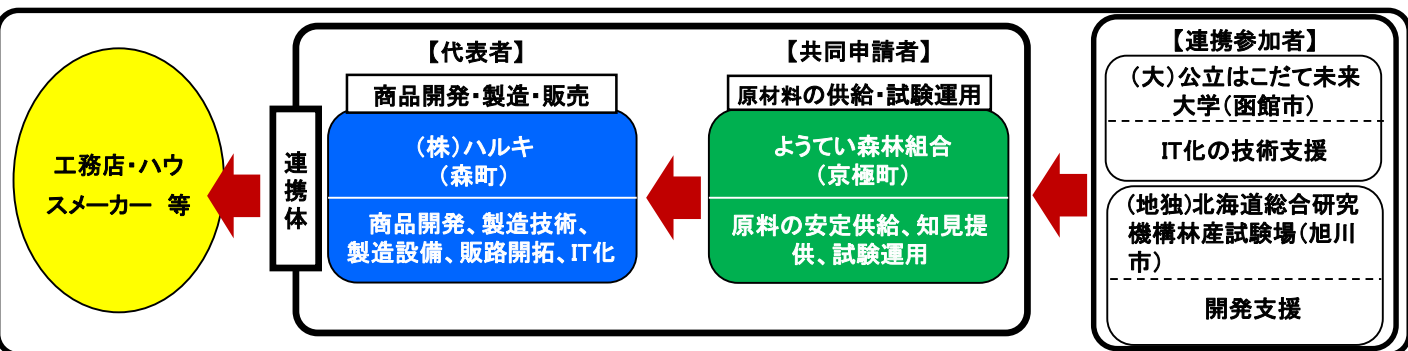


高強度集成材(イメージ)

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

カラマツは他の樹種に比べてねじれや割れが大きいので、道総研林産試験場の技術指導を受けて、乾燥技術やカラマツ材の特性を活かした積層接着技術の確立を目指す。また、はこだて未来大学との共同研究により、プレカット材の設計業務の効率化を図るため、作業プロセスごとに情報の電子化や暗黙知の形式知化を検討するとともに、最も人員を割かなくてはならないプレカット材の検品工程では、AI技術を利用した画像判定技術を導入し、省力化や付加価値向上を目指す。

新たに開発する「ようていプレミアム集成材」は、トレーサビリティが明確で高強度集成材のJAS規格を満たす製品である。また、ハルキとようてい森林組合はSGEC森林認証を取得しており、本事業で開発する製品は認証品として位置づけられることから、東京オリンピック関連施設等の高い要求基準にも対応可能な製品として期待される。



➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で約6,200万円の売上高増加。

安定した販売先確保、羊蹄地域の森林資源のブランド化による利益率の向上。

中小企業者

5年で約1億6,000万円の売上高増加。

トレーサビリティに優れた純国産の新商品販売による売上の増加、IT化による効率化、受注の増加。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : 株式会社ハルキ
TEL : 01374-2-5057
E-mail : info@mori-haruki.co.jp

所在地 : 北海道茅部郡森町字姫川11-13
FAX : 01374-2-2397
ホームページ : <http://mori-haruki.co.jp/>